

北海道支部で主催した講演会と研究発表会の報告

I. 北海道支部講演会

北海道支部の大きな事業の一つである講演会が、網走支庁・網走市・網走農業土木協会・北見管内農業協同組合長会の後援と網走地方気象台の協力を得て、平成元年11月28日に網走市民会場で開かれた。

今回の講演会は、日本気象学会北海道支部と日本農業気象学会北海道支部とが共催で開いたものである。

講演内容が地域に密着していたことや、関係者の積極的な広報活動もあって、平日にもかかわらず一般市民、学生、農業関係、地方自治体などから200名を超す聴衆が集まった。

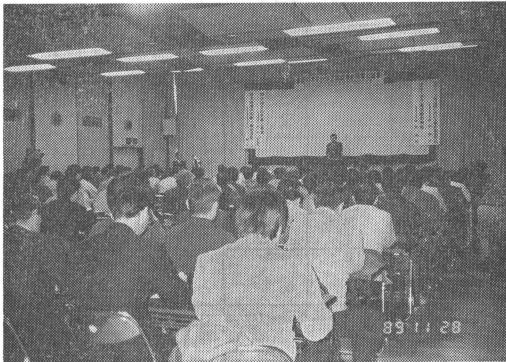
最後に「気象衛星から見る四季の天気」を上映して終了した。

記

メイン・テーマ：最近のオホーツク海沿岸の気象と農業

講演題目

1. オホーツク海沿岸における春の気温変化
宮川 和夫（網走地方気象台長）
2. オホーツク海沿岸の海水
青田 昌秋（北大低温科学研究所教授）
3. 網走地方の気象と農業
佐々木多喜男（北見農業試験場長）
4. 網走地域の気象と畑地灌漑
山上 重吉（専修大学北海道短期大学教授）



II. 平成元年度第2回研究発表会

平成元年度北海道支部第2回研究発表会が、去る11月

22日に札幌管区気象台を会場として行われた。

研究発表は、エアロゾルをはじめ、メソスケールから大規模スケールにおよび、なかなかバラエティに富んでいた。

ただ、発表者が北大と気象台に所属する会員のみで他の機関、あるいは個人会員の参加のなかったことが寂しかった。

[発表題目]

1. 北海道西岸小低気圧の力学的メカニズム
* 坪木 和久（北大低温科学研究所）
若浜 五郎（北大低温科学研究所）
2. 地形の影響を受けた風速場計算におけるパーソナルコンピュータの利用について
長谷川正樹（札幌管区気象台）
3. 寿都のだし風について
豊田 威信（札幌管区気象台）
4. 1988年9月22日千歳空港付近で発生したマイクロバーストとガストフロント
* 城岡 竜一（北大理学部）
上田 博（北大理学部）
5. 係留気球によるエアロゾル粒子の観測
* 大倉 誠司（北大環境科学研究科）
谷口 恭（北大理学部）
菊地 勝弘（北大理学部）
松浦 馨（北大理学部）
6. エルチチョン火山と大気混濁度の変動
毛利 英明（札幌管区気象台）
7. 昭和63年8月24日から8月27日にかけての前線による大雨の事例解析
* 山下 龍平（札幌管区気象台）
菅原 聡（札幌管区気象台）
8. 梅雨前線付近での雨滴粒径分布の特徴
* 岡崎 賢治（北大環境科学研究科）
播磨屋敏生（北大理学部）
9. 大規模場から見た北海道の大雨
竹谷 良一（札幌管区気象台）
* 四宮 茂春（札幌管区気象台）
石原 洋（札幌管区気象台）

* は発表者